



News Release

2005年6月22日
株式会社ジュピターテレコム
(コード：4817 JASDAQ)

ジュピターテレコム、100Mbpsのインターネット接続サービスを開始
— 世界初のc.LINKモデムを利用し、集合住宅を対象に7月から販売 —

株式会社ジュピターテレコム（J:COM、本社：東京都港区、代表取締役社長 最高経営責任者：森泉知行）は7月下旬から、集合住宅向けに最大で上り・下り100Mbpsの高速インターネット接続サービスの販売を開始します。このサービスは、集合住宅の外壁まで新たに光ファイバーを引き込み、集合住宅の棟内はc.LINK*と呼ばれる技術を用いて、同軸ケーブルで加入者に最大100Mbpsのインターネット接続サービスを提供するものです。本サービスは、高速ネット接続サービスを望む集合住宅を対象に一棟一括契約するもので、「J:COM NET 光」として全国J:COM局で販売を開始し、今秋から順次商用サービスを提供していく予定です。

本サービスはc.LINK技術を用いて世界で初めて開発されたモデムを使用するものですが、集合住宅では棟内LAN配線などの追加投資が不要なため、導入のために賃貸集合住宅のオーナーや分譲物件の管理組合が負担する初期投資額が大幅に削減できます。

c.LINK技術では最大250Mbpsのサービスの提供も可能であるため、今後さらに高速のサービスを提供することも検討しています。

c.LINK 技術を用いた新サービスの投入で、J:COM のネット接続サービスには、下り 8Mbps タイプと 30Mbps タイプの他に、100Mbps タイプが加わることとなります。新築か既築かといった建物の条件、部屋数、設置条件、賃貸物件オーナーや分譲物件管理組合との契約形態などに応じて料金設定をしていく予定です。

この新サービスを利用することで、賃貸集合住宅のオーナーは所有する不動産の価値を高めることができ、分譲物件の入居者は高速インターネットをこれまで以上に快適にお楽しみいただけるようになります。

* c.LINK

同軸ケーブル上で理論値250Mbps以上の高速データ通信を可能にする技術。米Entropic Communications社の登録商標

J:COM について <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム（J:COM）は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ局統括運営会社です。北海道、関東、関西、九州エリアのJ:COM17社（運営局）を通じて、192万2900世帯（2005年3月31日）にケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話サービスを提供しています。また、ホームパス世帯（敷設工事が済みいつでも加入頂ける世帯）は710万世帯（2005年3月31日）に達しています。主要株主は、LMI/Sumisho Super Media, LLC.、マイクロソフトグループ、住友商事で、2005年3月に、ジャスダック証券取引所に上場（コード番号:4817）しました。

J:COMは1本のケーブルで、J:COM TV、J:COM NET、J:COM PHONEの3サービスをバンドルして提供しており、今後とも、デジタル化がもたらす可能性を、お客様のニーズに応えた良質な商品として提供していきます。

この発表文にはジュピターテレコムおよびその関係会社の将来または将来の経営予測に関する事項が含まれています。この発表文で述べまたは暗示しているこれらの事項には、各種のリスク・不確定な要素などが含まれており、従って、将来における当社の今後の実績・活動内容・業績などの実質的結果と異なることがあります。